

ARIサーベイランス

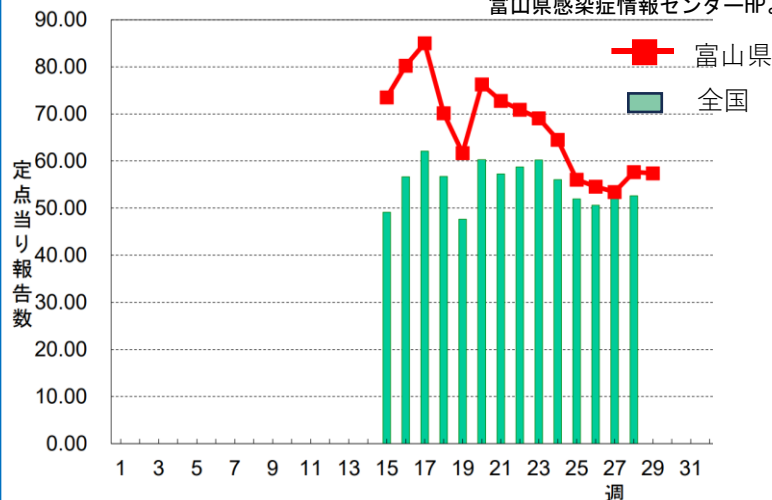
参考資料 2

○令和7年4月7日から**急性呼吸器感染症**（以下、**ARI**という。）が五類感染症（定点把握）に追加。
○ARIの症例定義に一致する患者について、ARI定点医療機関からは患者数の報告を、ARI病原体定点医療機関からは検体採取にご協力いただき、富山県衛生研究所でウイルス遺伝子検査を実施。

〈症例定義〉咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

1. ARIの定点報告状況（全国との比較）

富山県感染症情報センターHPより



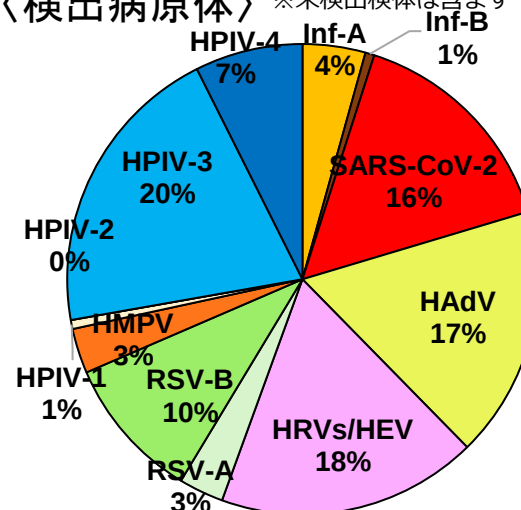
定点当たり報告数の増減の傾向は全国とおおむね類似。

富山県の定点当たり報告数は50から90の間で推移。

2. ARI病原体サーベイランスの状況（2025年4～6月累計）

〈検出病原体〉

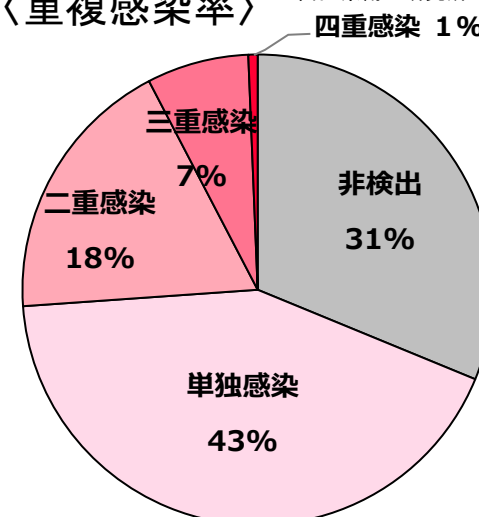
※未検出検体は含まず



全12種類の検査項目のうち、11種類の病原体が検出されている。
提出された検体の約3割において重複感染が確認された。

〈重複感染率〉

富山県衛生研究所HPより



3. 課題（ARI定点医療機関から寄せられたご意見より）

- ・症例定義が幅広いため報告数が増加し、定点医療機関に集計作業による大きな負担がかかる。
- ・定点医療機関の負担に見合った、医療現場に有用性のある情報還元を求める。

⇒厚労省および国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所から示される今後のフィードバックを注視していく。